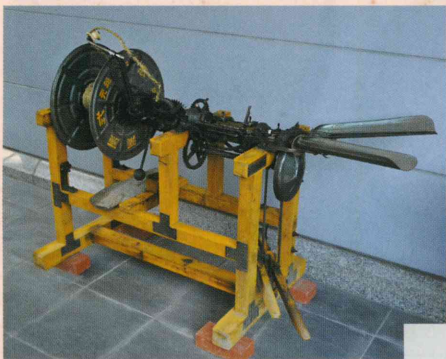


## 農具



▲唐箕 (とうみ)

脱穀した後、玄米中のくず米・藁くず・ごみ等を除去する道具。羽根車を廻し、その風力を利用して選別をおこなう。

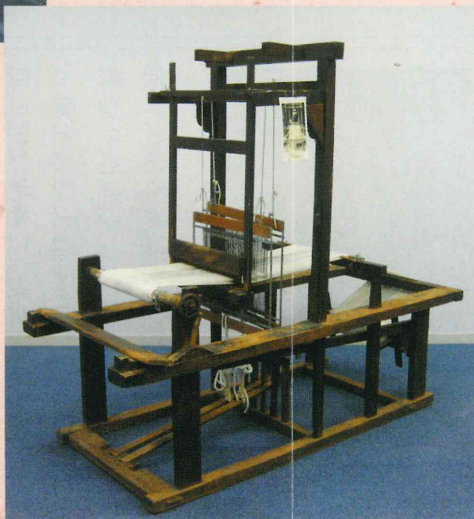


▲縄ない機 (なわないき)

両足を交互に踏むと、ラッパ管で藁によりがかって縄になる。

織機 (はたご)▶

経糸の間に緯糸を通して布を織る道具。腰掛けて、機織りができる木製の高機。



▼石臼 (いしうす)

米や麦・豆などの穀物を粉に挽く道具。



▲箱枕・陶枕 (はこまくら・とうちん)



## 生活用具



▲通い徳利 (かよいどくり)

酒屋が得意先に貸し出した徳利。この徳利を持って酒を買いに行った。



▲行火 (あんか)

中に炭火や炭団などを入れ、上から蒲団をかぶせて暖をとる。

# 民具

〈みんぐ〉



▲湯タンポ (ゆたんぽ)

▼丸行灯 (まるあんどん)

木などのわくに紙を貼り、中に油皿を据えてあかりをとす照明具。



▲炭火アイロン (すみびあいろん)

中に炭火を入れて底面をあため、布にあててしわを延ばす。



# うのはな館

## 常設展示解説



入海貝塚出土土器

東浦町教育委員会  
東浦町郷土資料館 (うのはな館)

愛知県知多郡東浦町大字石浜字桜見台18-4  
TEL(0562)82-1188 FAX(0562)82-1189

東浦で生まれた

# 於大の方

くわやまがこう 葉山賀行作 木彫 (樟)



とくがわ いえやす 徳川家康 (1542-1616)

母は水野氏の娘於大の方、岡崎城主松平広忠の嫡男として生まれる。幼名竹千代。今川義元の人質として駿府で成長する。於大の母源応尼に養育され、今川の軍師太源雪斎を師とした。関ヶ原の戦いに勝利し、1603年征夷大将軍に任ぜられて江戸幕府を開く。



おだい かた 於大の方 (1528-1602)

緒川城に生まれる。父は緒川城主水野忠政、母は於富の方。14歳で岡崎城主松平広忠に嫁ぐ。翌年家康を産んだが、水野氏が織田方についたため、3歳の家康を残して岡崎を離縁された。後、阿久比の坂部城主久松俊勝に嫁ぎ、夫とともに家康の天下統一を支えた。



みずの ただまさ 水野忠政 (1493-1543)

水野氏の本城、緒川城主で、於大の父。戦国時代、織田氏と今川氏両戦国大名の間で、水野一族が知多から三河にかけて独自の勢力を維持するのは困難な道であった。忠政は一族の長として、1533年刈谷城を築きここに拠点を移す。於大が家康を産んだ翌年に没した。

東浦町の花 うのはな



うのはな (ユキノシタ科ヒメウツギ)  
5月～6月に花が咲きます

しらなみ みぎわ  
白浪のかゝる汀とみえつるは  
をがはの里にさけるうの花  
後徳大寺左大臣実定

鎌倉時代末期に編集された『夫木和歌抄』という和歌集にはいつている歌です。この他にも、江戸時代に緒川を「卯の花の里」として詠んだ歌がいくつもあります。当時、夏には白い花が咲き乱れていたのでしょうか。

こうしたことから、昭和52年、「卯の花」が東浦町の花に制定されました。